

## 第2回教育コンテンツ作成WG議事録(確定)

日 時 : 令和5年8月29日(火) 10:00~12:00  
形 式 : Zoom 会議  
場 所 : 日本薬学会長井記念館 薬学教育協議会事務局 (ホスト会場)  
出席者 : 別記1  
配布資料 : 別記2

### 1. 業者選定について(資料1-1~1-3)

資料1-1に基づき、事務局より見積公告について概略説明があった。続いて、資料1-2に基づき提案書提出があった(株)ホサカの資料の説明がなされ、資料1-3のとおり、(株)ホサカが仕様要件、運営実績、予算、全省庁統一資格(役務提供者)取得等々により、最適な導入者先であると特定したことの報告があり、了承された。

説明後の主な意見(資料1-2の教材タイトル名の例示から)

この項目でe-learning コンテンツを作成するのか。

この教材数を必ず作成しなければならないということか。

#### ※補足説明

資料1-2の例示は、予定金額を把握するためにお示しした内容であり、<総合的に患者・生活者をみる姿勢>の教育コンテンツをe-learning コンテンツとして作成する用意があること、また、もう一つのe-learning コンテンツ作成WGにおいては、今後、業者を交えた打合せを重ね、具体的なe-learning コンテンツの作成を推進する予定であること、さらに、この例示に縛られるものではないことの説明がなされた。

但し、e-learning として作成する場合は、1月末日が納期であることを踏まえて準備していたきたいことの説明が併せて行われた。

### 2. 令和5年度薬学教育指導者のためのワークショップ(8/4開催)について(資料2-1~2-4)

文部科学省より、令和5年度薬学教育指導者のためのワークショップについて説明があった。8月4日に全国薬科大学長・薬学部長と薬学教育の指導的立場の先生方に、全ての薬学系大学からお集まりいただき、薬学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)に基づくカリキュラム実施に向けた課題と対応の検討・ご議論いただいたとのことであった。

資料2-1は、ワークショップ実施に先立ち行った事前アンケート結果で自由記載部分が沢山あり、資料2-2、2-3は、当日の総合討論での発表資料であるとの説明があった。

特に、資料2-4は、資料2-1の事前アンケート結果の抜粋と資料2-2~資料2-3の発表資料の抜粋で纏められた報告書であり、この報告書に基づき、詳細な説明がなされた。

### 3. コンテンツ作成に向けた委員からのご意見（資料3）

1)本間代表理事、亀井委員長より教育コンテンツの作成については、全国の先生方より期待されているとの発言がなされた。

教育コンテンツに対する主な意見の提示

- ・各薬科大学に向けて頑張ってくださいようなコンテンツはいかがか。
- ・教材の提案をしながら案内をすることはどうか。
- ・地域医療研修で必修科目とし学生に経験を積ませるようなことはいかがか。
- ・全人的な視点で実施することはいかがか。
- ・人生の視点と life スタイルにアプローチすることはどうか。
- ・地域における在宅医療（プライマリケア）等の視点はいかがか。
- ・社会の視点でとらえることはよろしいのではないか。
- ・医学教育モデル・コア・カリキュラムの GE（総合的に患者・生活者とみる姿勢）を参考とすることはいかがか。

2)亀井(大)委員より昭和大学の学生向け教育コンテンツの紹介がなされた。

- ① 学生向け教材（アクティブラーニング）で、学ぶという視点の内容である。
- ② 作成には約6か月を要した。
- ③ 昭和大学のオリジナル教材であること。
- ④ テーマ、シナリオ、絵コンテ等を決めることが大切である。
- ⑤ 4学部連携なので多職種連携である。
- ⑥ ナラティブに焦点をあてたものである。

説明後の主な意見提示

- ・効果的な教材ではないか。
- ・4学部が連携するポイントはいかがか。
- ・多職種との意見交換はよろしいのではないか。
- ・学修者に何を理解させたいのかが必要ではないか。
- ・これは昭和のオリジナルであるが、利用できるのか。
- ・昭和大学から利用するにあたり了解を得ることはどうか。
- ・新たに教材を作成すべきではないか。
- ・FD的な教材コンテンツとするのか。
- ・学生の授業対象とすべきではなか。
- ・授業準備用のコンテンツはいかがか。

3)有田委員より、7.23 医療薬学フォーラム 2023 の講演資料の紹介がなされた。

薬剤師向けのスライドである。

薬剤師として求められる基本的資質・能力を持ち、社会と薬学の関わりにより多職種連携に貢献する薬剤師として医療を支える等、トータルとしてナラティブコミュニケーションを取り入れた教育例であるとの詳細な説明であった。

#### 説明後の主な意見提示

- ・動画を見た後にやることもよろしいのではないか。
- ・ナラティブは統一のテーマではないか。
- ・PBL と TBL で学修することがよいのではないか。
- ・どのように実施すると育成できるのか。
- ・例示を示すことが大変ではないか。

4)川名委員より現場の薬局・薬剤師が果たす役割のスライドの提示があり、まだ患者に位置付けられていない患者の視点を踏まえた現場薬剤師の紹介があった。

また、小児在宅医療における薬剤師の実践モデルの紹介がなされた。

#### 説明後の主な意見提示

- ・他の教員が使えることができるような内容ではないか。
- ・教材形式のスライドで用意でき、ライフステージ、ナラティブアウトカムを意識できる？。
- ・先生方が考えていることを具現化されている。
- ・薬物乱用防止では、最新版にアップデートしたDVDがあるので参考資料としたい。
- ・災害防止対策はいかがか。
- ・自立支援で作成された資料がある。
- ・リスクコミュニケーションとして薬剤師が専門家としてどういう発信をすべきかという内容はいかがか。

5)亀井(美)委員長より教育コンテンツ作成では、ナラティブがポイントとなると発言がなされた。

また、データの収集も必要であるとの発言もなされた。

- ・亀井(大)委員の見本から、学年を跨る内容でシナリオを作成することがよろしいと考える。
- ・関連する先生を新たに加えることも考えたい。
- ・川名委員のシナリオには小佐野先生にご参加いただくことがよろしいのではないか。
- ・薬物乱用防止関連では千葉大学の先生にご参加いただくことがよろしいのではないか。

6)亀井(大)委員より、既存の動画を上手く再編して利用できるかどうかを考えてみる旨の発言があった。

7)有田委員より軸となる部分は、亀井(大)委員の内容でよろしいのでとの意見であった。また、視点も複数あるので問題ないとの発言があった。方法論については今後の相談となる。

#### 4. 次回以降の会議開催について（資料4）

次回以降の会議日程が資料に基づき確認された。

#### 5. その他

亀井(美)委員長より、今後もアイデアがあればご提供いただきたいとの発言があった。

また、現在シナリオを作っておき将来に動画の作成に展開させることもあり得るとの発言もなされ、閉会となった。

## 別記 1

## 教育コンテンツ作成ワーキンググループ第2回（8月29日開催）

| 構成員氏名   | 所 属             | 出欠席 | 備 考 欄 |
|---------|-----------------|-----|-------|
| 亀 井 美和子 | 帝京平成大学薬学部       | Web |       |
| 有 田 悦 子 | 北里大学薬学部医療心理学部門  | Web |       |
| 亀 井 大 輔 | 昭和大学薬学部薬学教育講座   | Web |       |
| 川 名 三知代 | ココカラファイン薬局砧店    | Web |       |
| 岸 本 桂 子 | 昭和大学薬学部社会健康薬学講座 | Web |       |
| 篠 原 久仁子 | 恵比寿ファーマシー       | Web |       |
| 本 間 浩   | 一般社団法人薬学教育協議会   | Web |       |
|         |                 |     |       |
|         |                 |     |       |
| オブザーバー  | 文部科学省高等教育局医学教育課 |     |       |

**別記 2** 教育コンテンツ作成ワーキンググループ第 2 回（8 月 29 日開催）

<配付資料>

資料 1-1 薬学教育協議会 HP 上の見積合わせ公告

資料 1-2 提案内容及び業者の概要

資料 1-3 見積合わせ公告の結果

資料 2-1 令和 5 年度薬学教育指導者のための WS\_事前アンケート結果

資料 2-2 令和 5 年度薬学教育指導者のための WS\_全体発表・討論資料（1 チーム）

資料 2-3 令和 5 年度薬学教育指導者のための WS\_全体発表・討論資料（2 チーム）

資料 2-4 令和 5 年度薬学教育指導者のための WS まとめ

資料 3

- WG 提示資料（08.29 亀井大輔）
- 配布用 230723 医療薬学フォーラムスライド S13-2（有田）
- 教育コンテンツ作成 WG（川名 三知代）
- 薬物療法の専門家としての薬剤師の思考形態  
—多疾患併存の在宅リチウム患者の場合—
- 小児在宅医療における薬剤師の実践モデルの構築の試み

資料 4 会議開催予定